



# ふじさんネットワーク

FUJISAN  
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

Vol. 55



富士岡(富士市)より

## 富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

## 目次

Contents

1. 活動体験
2. 自然観察会
3. 富士山エコレンジャー、活動中!
4. 会員活動紹介

## 1 活動体験

会員とボランティアの皆さんが、富士山の自然を守る取組を直接体験する活動を行いましたので、その様子をお知らせします。

### 1 第1回外来植物撲滅大作戦

と き 9月9日(土)10時から13時まで

と ころ 座学：富士山麓山の村 抜き取り：西臼塚駐車場  
(富士宮市粟倉)

参加者 55名

案 内 認定非営利活動法人 富士山クラブ

内 容 富士山麓山の村において、まず、座学で外来植物がなぜ問題なのか、また、どうやって外来植物を抜き取るのか、説明が行われました。

その後、西臼塚駐車場へ移動し、全員でヒメジヨオン、オオアワガエリ、セイヨウタンポポなどを、根を残さないよう気を配りながら抜き取りました。

抜き取った外来植物の重さは、40kgにも達しました。



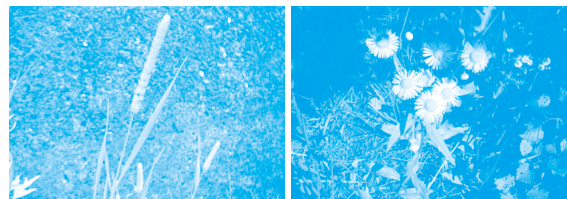
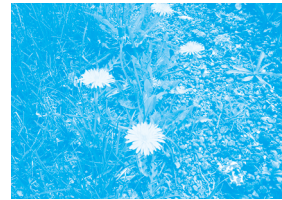
「山の村」管理棟で、今日の活動の意義について受講。



薄い霧が出ることもありましたが、丁寧に抜き取りが行われました。



参加したみなさんで、記念撮影。



上：セイヨウタンポポ  
左下：オオアワガエリ 右下：ヒメジヨオン

## 2 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

と き 9月30日(土)10時から15時まで

ところ 富士宮市根原(根原県有地)

参加者 26名

主 催 静岡県・富士宮市・ふじさんネットワーク

協 力 NPO法人 富士山自然の森づくり

内 容 朝霧高原と言えば、富士山の前に広がる草原が思い浮かびます。そこにはノウサギやヒバリなどの小動物や、背の低い草花など、草原を好む生きものが暮らしています。かつては人が、かやぶき屋根の材料や薪、肥料として草を刈ることにより、草原が保たれていました。現在では、定期的に草刈りを行わないと、やがて木が生い茂る森へと変わっていき、草原を好む生き物が居場所をなくしてしまいます。

このため、繁殖力が高く、他の植物への日当たりをさえぎる大人の背たけほどもあるススキを刈り取る体験を行いました。

毎年参加されているアサヒ飲料株式会社富士川工場の皆さんは、刈り取った後のすっきりした草原を見ながら

「気持ちのいい汗をかきました」とさわやかな笑顔でした。



顔が隠れるほど高いススキを刈り進みました。



富士山をバックに記念撮影。



「草原のセミナー」で、朝霧高原の動植物について学びました。



力を合わせて約1haのススキを刈り取りました。  
(手前側が刈り取り後)

## 3 秋の富士山ごみ減量大作戦

と き 10月21日(土)9時30分から11時30分まで

ところ 裾野市須山周辺

参加者 67名

主 催 静岡県・静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会・裾野市、  
ふじさんネットワーク

内 容 今年の秋は、富士山麓も長雨にさらされましたが、そんな中でも、心ないポイ捨てごみはたまり続けていました。

それに対してこのたび、世界遺産構成資産である須山浅間神社に向かう途中の道路などで、ボランティアの皆さんによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しました。

当日は台風が近づき、雨が強くなっていく空模様となってしまいましたが、昨年を上回る数の参加者の皆さんがごみ拾いに取り組んでくださいました。特に、小中学生の皆さんは小さなごみも見逃さずに拾ってくださいました。

その結果、可燃ごみ150kgと不燃ごみ270kg、計420kgものごみを回収することができました。ごみの中には、不法投棄されたテレビやタイヤ、バッテリーなども見られました。

また、裾野市の協力により、裾野市立富士山資料館の無料見学も行われました。



車からポイ捨てされたと思われるごみが、多く見つかりました。



子どもたちも、目の良さを活かして活躍しました。

## 2 自然観察会

富士山の自然と恵みにふれ、親しむことで、そのすばらしい自然環境を守っていく思いを高めていただくため、川と山の両方で自然観察会を実施しました。その模様を紹介します。

### 1 「富士山の自然と恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会

と き 8月6日(日)9時30分から12時まで

ところ 柿田川公園(駿東郡清水町)

参加者 34家族 85名

案 内 (公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内 容 富士山の代表的な恵みとして必ず挙げられるのが、豊かな湧き水です。柿田川は、富士山に降った雨雪が、地下の溶岩流の跡の隙間を通過して湧き出した、極めて大きな湧水です。

このたび、柿田川に家族で入って、そこに暮らす生き物を観察する学習会を開催しました。

眺めるだけでも美しい柿田川ですが、そのふところに入って清冽な水と豊かな生き物にふれると、新たに親しみの気持ちが湧き上がりました。

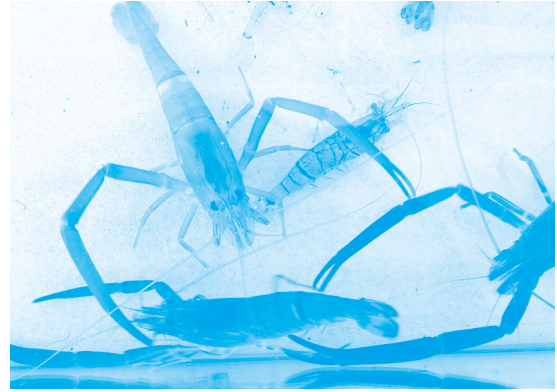
今回は、ウツセミカジカ、アイカケ、ミシマバイカモ、ヒンジモといった貴重な絶滅危惧種をはじめ、ヒラテテナガエビ、モクズガニなどが観察できました。(捕まえた生き物は、外来種のアメリカザリガニと、家で飼えるサワガニを除いて、すべて川に返しました。)



よく晴れた日ざしの中で、川の中の生き物を探しました。



生き物を水槽に集めて、  
その名前や生態の解説が行われました。



長いはさみを持った、ヒラテテナガエビ。

## 2 富士山富士宮口五合目～水ヶ塚駐車場自然観察会

と き 8月20日(日)10時15分から16時30分まで

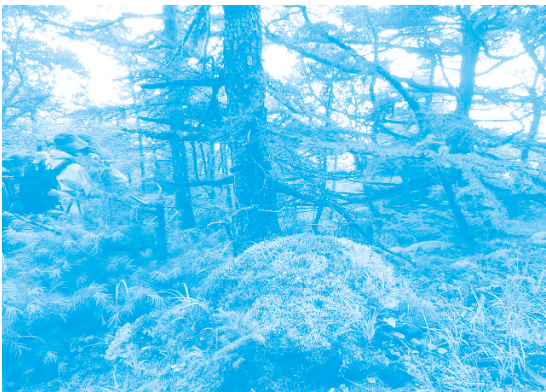
ところ 富士山富士宮口五合目から水ヶ塚駐車場

参加者 43名

案 内 富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

内 容 森林限界に近い富士宮口五合目から約8km、森の中の遊歩道を下りながら、標高に応じて変わっていく針葉樹、落葉樹、広葉樹、キノコなどを観察しました。

植物が盛んに伸びるこの時季は、特に深い緑の匂いと涼しい森の中で、別世界を感じることができました。



厚いコケに覆われた岩。



薄紫の花をつけたホタルブクロ。

### 3 富士山エコレンジャー、活動中!

#### (1) 合同活動

##### ア 植生保全パトロール

調査日	場所	内容	参加人数
7月8日	富士宮口五合目 ～宝永第二火口 往復	次の視点により、登山道周辺の植生にダメージがないか、パトロールしました。	13人
8月19日	須走口五合目～幻の滝～ 小富士～須走口五合目	・貴重な植物の採取、踏みつけ ・外来植物の侵入等の人為的な影響	9人
9月23日	御殿場口五合目～幕岩～ 双子山～大石茶屋～ 御殿場口五合目	・動物による食害 ・その他自然的な影響等	12人

##### イ トレイルラン植生保全調査

調査日	場所	内容	参加人数
4月28日	水ヶ塚～須山口弁当場～ 黒塚～須山口登山道	過去に開催されたトレイルランニングが、登山道と植生に与えた影響を、追跡モニタリングしました。	6人
8月30日	天子ヶ岳～長者ヶ岳		3人

##### ウ UTMF(ウルトラトレイルマウントフジ)意見交換会

調査日	場所	内容	参加人数
4月14日	裾野市須山支所	主催者及び関係者と、トレイルランニング大会が環境へ与える影響について議論しました。	2人
8月24日	東京海洋大学 越中島キャンパス		1人
9月13日	富士河口湖町公民館		1人

#### (2) 富士山エコレンジャー・エコサポーター研修会

研修日	講師	場所	内容	参加人数
6月17日	富士山エコレンジャー 連絡会 吉永代表幹事	静岡県 富士総合 庁舎	富士山エコレンジャーとは 活動の基本 富士山憲章 他	15人
10月21日	ふじさんネットワーク 増澤会長	ブラサ ヴェルデ	富士山の植物 (木、草、森林、生態系)	12人
	静岡県自然史博物館ネット ワーク 三宅副理事長		富士山の動物 (哺乳類)	



# 4 会員活動紹介

**NPO法人 富士市のごみを考える会**

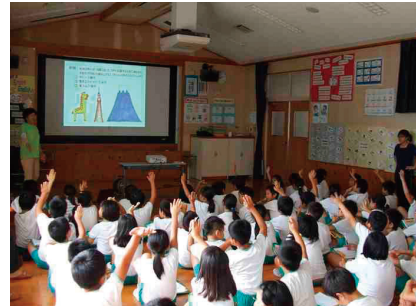
富士市大淵99番地の27 熊谷宅

TEL・FAX 0545-35-1968

**設立時期** :2003年12月26日

## 設立の背景:

富士市におけるごみの排出量が全国平均より多いことに気がつき、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めごみを削減し、資源循環型社会を目指すことで、持続可能な社会作り貢献する環境先進都市富士市を作ろうと、この会を設立。



小学校での環境学習の様子

**会員数** :47人(2015.3.31現在)

## 環境学習:

富士市環境アドバイザーとして、小学校4年生を中心に、3Rを含めたごみの現状を学び、どうしたらよいかを共に考える授業を行っています。



富士市で浄化槽フォーラム開催

## 浄化槽フォーラム・水保全活動

静岡県は、全国に比べ浄化槽法定検査受検率が悪く、単独処理浄化槽も多いことから、環境省より提案があり、浄化槽フォーラムの立ち上げに関わり、それ以降、当会が理事に入っています。

平成25年には、富士市で全国大会を開催し、それ以降、富士山の地下水を守る水保全の活動として、浄化槽地域で合併処理浄化槽への転換を促す講座を開催したり、中学校での水保全講座の協力を行っています

日時 :2017 11/25(土) 10:00~12:00

■第1部 講演  
「水環境保全のための浄化槽の活用と正しい知識」  
講師:東洋大学理工学部都市環境デザイン学科准教授 博士(工学) 山崎 宏史 氏

講演終了後  
ごみの活動報告

■第2部  
学生による浄化槽に関するヒアリング

会場 :富士川ふれあいホール(2F講義室)  
富士市岩間855-39

主催)第1部: NPO法人富士市のごみを考える会、富士市市民部多文化・男女共同参画課  
(平成29年度富士市男女共同参画推進事業)  
(協力)第1部: 市川公民会 第2部: 東海大学 富士川上下水道衛生環境水対策課  
(平成29年度若手学生地域貢献推進事業) 山崎 宏史 氏  
(支援)一般社団法人全国浄化槽団体連合会(平成29年度水環境保全助成事業)

市民向け水保全浄化槽活用講座

## リユース食器

イベント等で使い捨て食器を使わずごみを減らすため、リユース食器の貸し出しをしています。地球・人間環境フォーラムのリユース食器ネットワークに所属。



2017年12月 vol.55

編集・発行 / **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuji@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

## ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘  
(静岡大学客員教授)
- 会員数 525団体・個人 (H29.11.30現在)